

1 本時の目標

販売の仕事の様子について，学習問題や予想，学習計画を考え，表現することができるようにする。
(社会的な思考・判断・表現)

2 展開(1/12時)

学習活動	教師の働き掛け(○)，質的改善を図った手立て(□)，評価(【】)
1 本時のめあてを持つ。 〈学級全体〉	○本時の学習の見通しを持つことができるように，学習問題を設定することを伝える。
本時のめあて 学習問題をつくり，調べることを考えよう。	
2 スーパーマーケットにたくさんの客が行っていることに疑問を持つ。〈学級全体〉	○佐賀市にある施設について想起することができるように，前単元「佐賀市のようす」で調べた内容を振り返らせる。 ○本単元の学習内容へ意欲を持つことができるように，ふだんから商店によく行っていることを想起させる。 ○家族がよくスーパーマーケットに行っていることに気付くことができるように，「買い物調べ」の結果を示し，スーパーマーケットの利用回数に注目させる。
3 スーパーマーケットにたくさんの客が集まる工夫にはどのようなものがあるか予想する。〈全体〉	○他の店よりもスーパーマーケットに買い物に多く行っていることから，「なぜスーパーマーケットにたくさんの客が行っているのかな」という疑問を持たせる。 ○スーパーマーケットが行っている集客の工夫に目を向けることができるように，「なぜスーパーマーケットに行っているのかな」と問い，「いろいろなものがあるから」「チラシが入っているから」など様々な予想を引き出す。
4 学習問題Ⅰを設定する。〈個〉	○スーパーマーケットにたくさんの客が行っているのは何か工夫があるのではと疑問をもたせ，予想させる。 ○スーパーマーケットの集客の工夫について予想をすることができるように，店内の写真を資料として提示する。 ○次時からの学習において，学習する内容を把握し，見通しを持って調べ学習を行うことができるように，予想を「商品」「コーナー」「店員」「売り場の外」に仲間分けしながら板書していく。
学習問題Ⅰ スーパーマーケットにお客さんがたくさん来る工夫を調べよう。	
5 調べたいことを挙げる。	○次時からの学習につなげるため，スーパーマーケットの工夫について調べたいことを挙げさせる。〔B①〕 販売の仕事の様子について，学習問題や予想，学習計画を考え，表現している。【評価】

1 本時の目標

- ・販売の仕事に関心を持ち、意欲的に調べることができるようにする。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- ・働く人の様子や販売の工夫について必要な情報を読み取り、ワークシートにまとめることができるようにする。
(観察・資料活用 of 技能)

2 展開(2/12時)

学習活動	教師の働き掛け(○), 質的改善を図った手立て(□), 評価(【】)
1 学習問題Ⅰを確認する。 〈学級全体〉	○本時の学習の見通しを持つことができるように, 学習問題Ⅰを確認する。
2 本時のめあてをつかむ。 〈学級全体〉	学習問題Ⅰ スーパーマーケットにお客さんがたくさん来る工夫を調べよう。 ○本時の学習で何について調べるのかを意識することができるように, 調べる内容をまとめた表を提示し, 本時に調べる内容を確認する。〔C①〕
本時のめあて スーパーマーケットの商品について調べよう。	
3 調べたいこととして挙げたことについて予想する。 〈学級全体〉	○調べ学習に対する意欲を高めることができるように, 前時において確認した調べたい内容について予想を引き出す。
4 商品について調べる。 〈全体〉	○児童から予想を引き出し, 調べる内容に見通しを持たせた上で, 教科書や副読本を基に必要な情報を読み取らせる。 ○調べ学習に対する意欲を高めることができるように, 前時に児童が調べたいこととして挙げたことを個別に調べる時間を取る。 ○調べ学習の進め方を理解することができるように, 教科書や副読本の必要な情報が掲載されている場所を児童と一緒に探す。 働く人の様子や販売の工夫について必要な情報を読み取り, ワークシートにまとめている。【評価】 ○資料から必要な情報を探し出す手助けとなるよう, 教科書や副読本の文章と一緒に読んだり, 資料を確認したりして, 商品について調べさせる。
5 商品について調べたことをまとめる。 〈学級全体〉	販売の仕事に関心を持ち, 意欲的に調べている。【評価】 ○調べ学習の意義を実感することができるように, 調べたことが自分たちの予想と同じであったかを確認する。 ○スーパーマーケットの集客の工夫についての理解を深めることができるように, 商品について調べたことを基に, お客さんにとって必要な商品を努力して集めていることに気付かせる。
6 学習問題Ⅰについて考える。 〈個〉	○本時で分らなかったことは, 疑問として残しておき, 実際にスーパーマーケットに行って調べることを伝える。 ○本時で学習したことを基に学習問題Ⅰについて考え, スーパーマーケットの集客の工夫についての理解を深めることができるようにする。〔C②〕

1 本時の目標

- ・販売の仕事に関心を持ち、意欲的に調べることができるようにする。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- ・販売の工夫について、消費者の願いや目的と関連付けて考え適切に表現することができるようにする。
(社会的な思考・判断・表現)

2 展開(3/12時)

学習活動	教師の働き掛け(○), 質的改善を図った手立て(□), 評価(【】)
1 学習問題Ⅰを確認する。 〈学級全体〉	○本時の学習の見通しを持つことができるように, 学習問題Ⅰを確認する。 学習問題Ⅰ スーパーマーケットにお客さんがたくさん来る工夫を調べよう。
2 本時のめあてを持つ。 〈学級全体〉	○本時の学習で何について調べるのかを意識させるために, 調べる内容をまとめた表を提示し, 本時に調べる内容を確認する。〔C①〕
本時のめあて 店内の工夫について調べよう。	
3 調べたいこととして挙げたことについて予想する。 〈学級全体〉	○調べ学習に対する意欲を高めるために, 店内にはどのような集客の工夫があるか予想させる。
4 店内の様子について調べる。 〈学級全体〉	○店内の様子について知るために, 教科書や副読本から必要な情報を調べさせる。 ○調べ学習に対する意欲を高めるために, 前時に児童が調べたいこととして挙げたことを個別に調べさせる。 ○調べ学習の進め方を示すために, 教科書や副読本の必要な情報が掲載されている場所を児童と一緒に探す。 ○資料から必要な情報を探し出す手助けになるように, 教科書や副読本の資料を全員で確認した後に, 店内の様子について調べるように伝える。 販売の仕事に関心を持ち、意欲的に調べている。【評価】
5 店内の様子を工夫をまとめる。 〈学級全体〉	○調べたことが自分たちの予想と同じであったかを確認することで, 調べ学習の意義を実感できるようにする。 ○店内の工夫が何のためにあるのかを考えさせることで, どこに何があるか分かってもらえるように看板があったり, 整理されて並べられていたりしていることに気付くことができるようにする。 販売の工夫について、消費者の願いや目的と関連付けて考え適切に表現している。【評価】
6 学習問題Ⅰについて考える。 〈個人〉	○スーパーマーケットの集客の工夫について前時の学習とつなげてまとめさせることで, 学習内容についての理解を深めることができるようにする。〔C⑩〕 ○まだ知りたいこと, 分からなかったことについて記述するように声を掛け, スーパーマーケット見学の際に尋ねることができるようにする。

1 本時の目標

- ・販売の仕事に関心を持ち、意欲的に調べることができるようにする。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- ・販売に見られる仕事の特色や国内の他地域との関わりを理解することができるようにする。
(社会的事象についての知識・理解)

2 展開(4/12時)

学習活動	教師の働き掛け(○), 質的改善を図った手立て(□), 評価(【】)
1 学習問題Ⅰを確認する。 〈学級全体〉	○本時の学習の見通しを持つことができるように, 学習問題Ⅰを確認する。 学習問題Ⅰ スーパーマーケットにお客さんがたくさん来る工夫を調べよう。
2 本時のめあてを持つ。 〈学級全体〉	○本時の学習で何について調べるのかを意識することができるように, 調べる内容をまとめた表を提示し, 本時に調べる内容を確認する。〔C①〕
本時のめあて お店の人の仕事について調べよう。	
3 調べたいこととして挙げたことについて予想する。 〈学級全体〉	○調べ学習に対する意欲を高めるために, 店の人の仕事にはどのような工夫があるか予想を引き出す。 ○本時の学習内容である店員の仕事について, 買い物の経験を想起することができるように, デジタル教科書の写真を見せ, 集客の工夫について予想を引き出す。
4 店員の仕事について調べる。 〈個→全体〉	○店員の仕事を調べる方法を確認するために, 教科書や副読本の文章や写真等の資料があることを伝える。 ○調べ学習に対する見通しを持つことができるように, 教科書や副読本の資料を全員で確認する。 ○全体で調べたことを共有することができるように, 店員の仕事について調べたことや根拠とする資料を発表させる。 ○調べ学習の意義を実感できるよう, 調べたことが自分たちの予想と同じであったかを確認する。
5 店員の仕事についてまとめる。 〈全体〉	販売の仕事に関心を持ち, 意欲的に調べている。【評価】 ○店員の仕事の意味について考えさせることで, 集客の目的の他にもお客さんの願いをかなえるためであることに気付くことができるようにする。 ○本時の学習を基に, 「お客さんの願いをかなえるため」に店員が分担して仕事をしていることをまとめる。
6 学習問題Ⅰについて考える。 〈個人〉	販売に見られる仕事の特色や国内の他地域との関わりを理解している。【評価】 ○スーパーマーケットの集客の工夫について前時の学習とつなげてまとめさせることで, 学習内容についての理解を深めることができるようにする。〔C⑩〕 ○まだ知りたいこと, 分からなかったことについて記述するように声を掛け, スーパーマーケット見学の際に尋ねることができるようにする。

1 本時の目標

スーパーマーケットで働く人は、消費者の願いや目的に合わせて様々な販売の工夫や努力をしていることを考え、表現することができるようにする。
(社会的な思考・判断・表現)

2 展開(本時 5 / 12)

学習活動	教師の働き掛け(○), 質的改善を図った手立て(□), 評価(【】)
1 本時のめあてを持つ。 (学級全体)	○本時の学習の見通しを持つことができるように, 学習問題 I を確認する。 学習問題 I スーパーマーケットにお客さんがたくさん来る工夫を調べよう。 ○主体的に学習に取り組むことができるように, 児童が調べたい4つの内容を仲間分けした図に注目させ, 本時に調べることを考えさせる。 ○仲間分けした図を基に, 本時は「店外」について調べることを確認する。
本時のめあて 店外には, どんな工夫があるか調べよう。	
2 店外にはどんな工夫がありそうか予想する。(学級全体)	○学習の見通しを持つことができるよう, 店外の工夫に関する写真を見せ, 工夫されているところを探すように促す。 ○調べる意欲を高めるために, なぜその工夫がされているか予想を引き出す。
3 教科書や副教材から, 店外の工夫について調べる。 (個→ペア)	○調べる意欲を高めるために, 写真から探した工夫は予想であることを確認し, 予想が本当かどうか確かめるために調べることを伝える。 ○店外の工夫について調べ学習を効果的に進めるため, 教科書や副読本のページを限定して示したり, 事前に準備したスーパーマーケットの写真を提示したりする。 ○調べ学習に対して自信を持って取り組むことができるように, 個人で調べた後に, ペアで確認する時間を取る。
4 調べた工夫を発表する。 (学級全体)	○調べた工夫を全体で共有することができるように, ペアで確認した後に, 全体で発表する時間を取る。 ○店外の工夫が様々なお客さんに向けられたものであることに気付くことができるように, 児童が発表した内容を「体の不自由な方に向けられたもの」「小さな子供連れの方に向けられたもの」などに分けて板書していく。〔D①〕 ○スーパーマーケットは, 店外においてもお客さんのために様々な工夫をしていることに気付くことができるように, 調べたり考えたりしたことが, 「買い物調べ」における「そのお店を利用した理由」と似ていることに気付かせる。〔D①〕
5 店外の工夫についてまとめる。 (個→ペア)	○本時で学習したことをまとめることができるように, 「たくさんの人」「便利のように」などのキーワードを挙げ, キーワードを使ってまとめるように伝える。〔D⑧〕

6 店外の工夫について、実際にスーパーマーケットで調べたいことを書く。〈個〉	○スーパーマーケットの集客の工夫が「たくさん買ってもらうため」「売り上げのため」であることに気付くことができるように、本時までの学習を振り返る時間を取る。 ○学習問題Ⅰについて、どのような工夫があったかを想起させ、自分の言葉でノートに書かせる。【評価】〔C⑩〕 スーパーマーケットで働く人は、消費者の願いや目的に合わせて様々な販売の工夫や努力をしていることを考え、表現している。 【評価】 ○本時の学習だけでなく、今までの学習を想起して考えることができるように、児童の疑問をまとめた表を見せ、どのような工夫があったのかを確認する。〔C⑩〕 ○数名に考えを発表させることで、自分の考えに付け加えたり修正したりできるようにする。 ○店外の工夫について調べる意欲を高めるため、本時で調べたことを基に、更に調べたいことや分からなかったことを書く時間を取る。〔C⑩〕 ○本時まで「商品」「店内」「店員」「店外」について調べてきたことを実際に見たり、聞いたりするために次時でスーパーマーケットに見学に行くことを伝える。
---	--

1 本時の目標

- ・観点に基づいて見学して、販売の仕事の様子について必要な情報を集めることができるようにする。
(観察・資料活用の技能)
- ・販売の仕事の様子について、学習問題を考え、表現することができるようにする。
(社会的な思考・判断・表現)

2 展開(6/12時, 7/12時)

学習活動	教師の働き掛け(○), 質的改善を図った手立て(□), 評価(【】)
1 学習問題Ⅰを確認する。 〈学級全体〉	○本時の学習の見通しを持つことができるように、学習問題Ⅰを確認する。 □学習問題Ⅰ スーパーマーケットにお客さんがたくさん来る工夫を調べよう。
2 本時のめあてを持つ。 〈学級全体〉	○本時の学習に対する見通しをもつことができるように、これまで調べたことを確認したり、分からなかったことを調べる時間であることを伝える。 ○店員にインタビューをする際の参考になるように、これまでの学習内容を基に、更に調べたいと思ったことを表一覧にして配布する。
本時のめあて スーパーマーケットを見学し、確認をしたりインタビューをしたりしよう。	
3 実際にスーパーマーケットを見学し、調べたことを確認したり、分からないことをインタビューしたりする。 〈個人〉	○前時までの学習で分からなかったこと、より知りたいと思ったことを実際に見たり、聞いたりして調べるように伝える。 ○調べたいことや知りたいことを「実際にあるのか、行われているのか確認すること」「仕組みや訳を知りたいこと」に分けさせることで、「見て確認すること」と「インタビューをして確認すること」とに区別し、児童が調べ学習を行いやすいようにする。 ○調べてきたことを確認することで、これまで学習した内容が実際の社会とつながっていることを実感することができるようにする。 ○実際に販売の仕事をしているスーパーマーケットの店員の働く様子を見たり、インタビューして関わったりすることで、実感を持って社会的事象に触れることができるようにする。 ○調べ活動の意義を実感することができるように、分からなかったことがインタビューを通して解決できたことを称賛する。 ○学習内容についての理解を深めることができるように、調べた結果を基に、更に詳しく知りたいと思ったことについてインタビューをする時間を取る。 □観点に基づいて見学して、販売の仕事の様子について必要な情報を集めている。【評価】
4 学習問題Ⅱを設定する。 〈学級全体〉	○学習問題Ⅱの設定につなげるために、店の思い「たくさんの客に来てもらうため、たくさんの工夫をして、もっといい店になるために頑張っている」を伝え、更にお客さんを集めるためのアイデアを提案しようという思いを引き出す。
学習問題Ⅱ どうしたらスーパーマーケットにもっとお客さんが来るようになるだろう	
5 学習問題Ⅱについて予想する。 〈個〉	販売の仕事の様子について、学習問題を考え、表現している。 【評価】 ○どのような工夫が考えられるか予想させ、次時の学習につなげる。

1 本時の目標

- ・地域には販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていることを理解することができるようにする。
(社会的事象についての知識・理解)
- ・集客の工夫を基に、どのようなお客さんに向けられたものなのか考えることができるようにする。
(社会的な思考・判断・表現)

2 展開(8/12時, 9/12時)

学習活動	教師の働き掛け(○), 質的改善を図った手立て(□), 評価(【】)
1 学習問題Ⅱを確認する。 〈学級全体〉	○本時の学習の見通しを持つことができるように, 学習問題Ⅱを確認する。 学習問題Ⅱ どうしたらスーパーマーケットにもっとお客さんが来るようになるだろう。
2 本時のめあてを持つ。 〈学級全体〉	○スーパーマーケットで調べてきたことを整理する必要性を実感することができるように, 「これは何のための工夫でしょうか?」と尋ね, 様々な考えを引き出していく。 ○本時のめあてをつくることができるように, 「これまでの学習内容を整理するための方法」を考えさせ, 新聞のアイデアを引き出す。
本時のめあて 調べてきたことを新聞にまとめよう。	
3 「商品」「店内」「店員」「店の外」について, 新聞にまとめる。 〈個人〉	○調べてきたことを分かりやすく整理することができるように, 4つの観点ごとに集客の工夫をまとめるように伝える。 ○見通しを持って新聞作成に取り組むことができるように, 教師が作成した新聞のモデルを示す。 地域には販売に関する仕事があり, それらは自分たちの生活を支えていることを理解している。【評価】
	○スーパーマーケットが客の願いを踏まえながら集客の工夫をしていることに気付くことができるように, それぞれの工夫が誰のために, 何のために行われているのかを考える時間を取る。[D①]
	集客の工夫を基に, どのようなお客さんに向けられたものなのか考えている。【評価】
4 次時の学習の確認をする。 〈学級全体〉	○スーパーマーケットに提案する工夫はどのようなものが良いかを考えさせることで, これまで学習した内容ではないものを考える必要性を実感させる。 ○スーパーマーケットの工夫が客の願いを踏まえたものであることを想起させ, 家族と共に考えるように促す。 ○A町には新しい家に住む小さな子供がいる家庭や昔からの家に住むお年寄りが多いことに気付くことができるように, A町に住んでいる人の年齢構成表やA町の航空写真を提示する。 ○A町に多く住んでいる「家族連れ」「お年寄り」についての工夫を考えることが提案する工夫に結び付くことに気付かせ, 次時は「家族連れ」「お年寄り」に向けた集客の工夫を考えていくことを伝える。[D①]

1 本時の目標

- ・販売の仕事と自分たちの生活と関わりを考えようとすることができるようにする。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- ・スーパーマーケットの売り上げのための工夫や努力を、消費者の願いや目的、自分たちの生活と関連付けて考え、適切に表現することができるようにする。
(社会的な思考・判断・表現)

2 展開(10/12時)

学習活動	教師の働き掛け(○), 質的改善を図った手立て(□), 評価(【】)
1 学習問題Ⅱを確認する。 〈学級全体〉	○本時の学習の見通しを持つことができるように、学習問題Ⅱを確認する。 学習問題Ⅱ どうしたらスーパーマーケットにもっとお客さんが来るようになるだろう。
2 本時のめあてを持つ。 〈学級全体〉	○本時の学習に対する見通しをもつことができるように、本時は前時に決めた「家族連れ」「お年寄り」へ向けた工夫を考えることを伝える。
本時のめあて お家の方へのインタビューから、提案する工夫を考えよう。	
3 スーパーマーケットに提案する集客の工夫を考える。 〈個→グループ〉	○提案する集客の工夫を考える際の参考になるように、家庭からのインタビューをまとめたものを配布する。 ○インタビュー内容を確認し、「誰かが困っているから工夫してよりよくしていること」に気付かせながら、スーパーマーケットの工夫が客に安心して来てもらうためのものであることを確認する。〔D①〕 ○提案する工夫を考える際、「『誰が』『こんなことに困っている』から『こういう工夫』をして『このように』なってほしい」という書き方の例を提示し、記述をする際の参考になるようにする。 ○グループで相談する目的を考えることができるように、一人で考えた方が良いか相談した方が良いかを尋ねる。〔D④〕 ○自分の考えに自信を持つことができるように、グループで相談し、自分の考えで良いのか確認したり、他の意見を参考にさせたりする。 販売の仕事と自分たちの生活と関わりを考えようとしている。 【評価】 スーパーマーケットの売り上げのための工夫や努力を、消費者の願いや目的、自分たちの生活と関連付けて考え、適切に表現している。【評価】
4 次時以降の学習の確認をする。 〈学級全体〉	○本時に考えた工夫は、提案数が多く、全てを提案することができないことを伝え、どうしていくのか次時で考えることを伝える。
5 学習の振り返りをする。 〈個人〉	○自分の考えに自信を持ったり、修正する必要があることに気付いたりできるように、学習問題Ⅱについて、友達と話し合っただのようように考えが変わったのか、他の考えについてどのように感じたのかを振り返る時間を取る。

1 本時の目標

観点を基に，スーパーマーケットの売り上げのための工夫について，提案内容を考えることができるようにする。
(社会的な思考・判断・表現)

2 展開(11/12時)

学習活動	教師の働き掛け(○)，質的改善を図った手立て(□)，評価(【】)
1 学習問題Ⅱを確認する。 〈学級全体〉	○本時の学習の見通しを持つことができるように，学習問題Ⅱを確認する。 学習問題Ⅱ どうしたらスーパーマーケットにもっとお客さんが来るようになるだろう。
2 本時のめあてを持つ。 〈学級全体〉	○前時で考えた工夫は，全て提案することができないのでどうするか考えるように促し，数を絞っていく必要性を実感させる。〔D④〕
本時のめあて スーパーマーケットに提案する工夫を決めよう	
3 提案する工夫を決める。 〈個→ペア〉	○どのような工夫であれば，スーパーマーケットに提案できるかを考えさせ，「たくさんのお客さんが来る工夫」であることに気付かせる。 ○スーパーマーケットに提案する工夫は「お金が掛からない」「時間が掛からない」「お客さんの願いを叶える」であることが望ましいことに気付かせ，観点の提示につなげていく。 ○実際に提案する工夫を具体的に決めることができるように，観点「お金が掛からない」「時間が掛からない」「お客さんの願いを叶える」を示す。 ○提案する工夫を考えやすいように，個人で考えた後に，ペアで考えを比較して吟味する時間を取る。 ○ペアで考えを選択させる際，「よりよい提案」の基準の一つとして数値を活用するように伝える。 観点を基に，スーパーマーケットの売り上げのための工夫について，提案内容を考えている。【評価】
4 次時以降の学習の確認をする。 〈学級全体〉	○次時の学習に対する意欲を高めることができるように，次時はペアで選択した考えを全体に紹介し，学級で1つの意見を選ぶことを伝える。

1 本時の目標

販売の仕事と自分たちの生活との関わりから、販売の促進につながる提案を考えようとすることができるようにする。
(社会的事象への関心・意欲・態度)

2 展開(12/12時)

学習活動	教師の働き掛け(○), 質的改善を図った手立て(□), 評価(【】)
1 学習問題Ⅱを確認する。 〈学級全体〉	○本時の学習の見通しを持つことができるように、学習問題Ⅱを確認する。 学習問題Ⅱ どうしたらスーパーマーケットにもっとお客さんが来るようになるだろう。
2 本時のめあてを持つ。	○前時で考えた工夫は、全て提案することができないのでどうするか考えるように促し、数を絞っていく必要性を実感させる。〔D④〕
本時のめあて 提案する工夫を決めよう	
3 提案する工夫を決める。 〈学級全体〉	○提案する工夫を全体で1つに決める際の参考になるように、前時までのペアで決めた工夫を集約したものを配布する。 ○ペアで決めた提案する工夫をクラス全体で把握することができるように、「誰のため」「どんな工夫」「困っていること」「どうなるか」について意識して発表するように伝える。 ○話し合いを深めることができるように、提案する工夫について、「本当にお金が掛からないか」「本当に時間が掛からないか」「他にも問題があるので、どうしたらよいか」など反対意見を発表するように伝える。 ○話し合いを深めることができるように、反対意見に対して更に反論を考えるように伝える。 ○発表された提案する工夫の中で、最も納得できる意見はどれか、理由を付けて選ばせる。 ○最終的に選んだ意見について更に深く考えることができるように、「誰かが困らないのか」「スーパーマーケットがお金や時間を掛けずにできるのか」について再度考えるように伝える。 ○スーパーマーケットに提案する工夫を1つに絞り、お客さんの願いとスーパーマーケットの工夫との関連に触れ、スーパーマーケットの努力に気付くことができるようにする。 販売の仕事と自分たちの生活との関わりから、より販売の促進につながる提案を考えようとしている。【評価】
4 単元全体の学習を振り返る。	○社会の学習と実際の社会とのつながりを実感することができるように、提案内容を実際に店長さんに確認してもらうことを伝える。 ○本時までの学習を振り返らせることで、自分の考えを数値化して、友達と話し合うことで、考えが深まったことに気付かせる。〔D④〕